

道徳教育の基盤づくり

平成18年5月11日(木)
広島県立教育センター

人が環境をつくり、環境が人をつくる

割れ窓理論

人的環境

教師と子ども、子ども同士、その他の人との人間関係の充実

物的環境

道徳的実践意欲を喚起するような環境整備の工夫

教師の姿勢



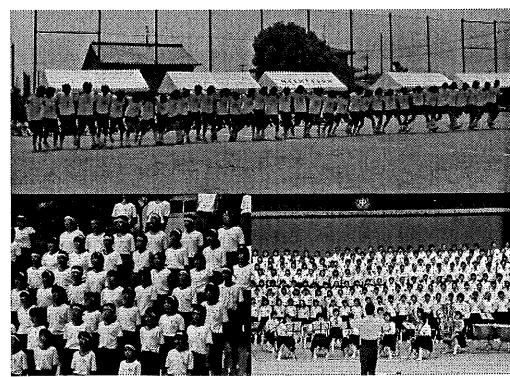
子ども同士の人間関係づくり

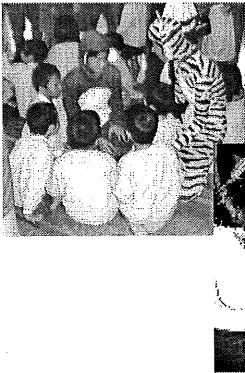
認め合い

助け合い

学び合い

鍛え合い



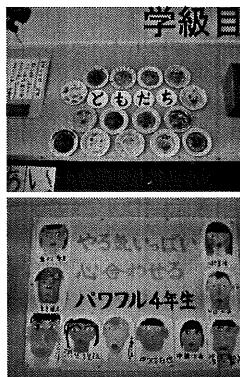


異学年や他校種との交流

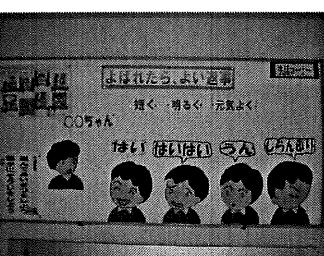
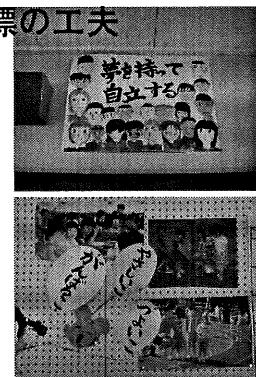


お年寄りとの交流

- ・日常的に道徳的実践ができるような工夫
- ・環境美化や整理整頓
- ・道徳性の育成にかかる情報の提示を工夫
- ・掲示物や展示物の工夫
- ・言語環境づくり



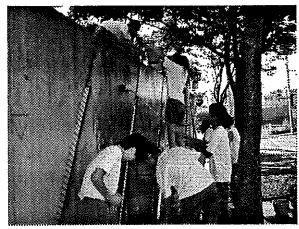
学級目標の工夫



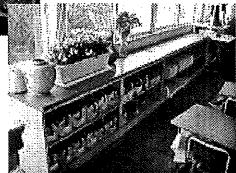
生活目標の掲示



あいさつの推奨



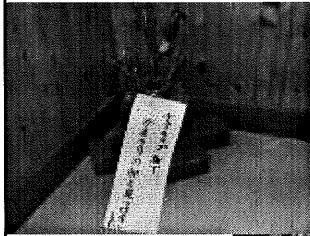
掃除の徹底



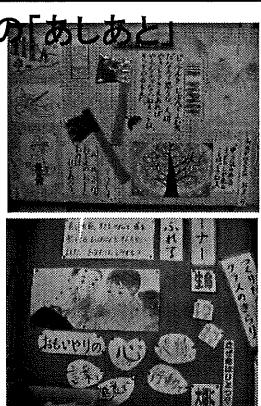
整理整頓



栽培活動

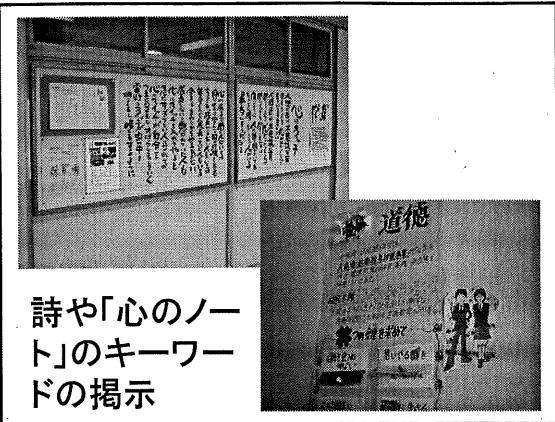


廊下のフロワー
コーナー

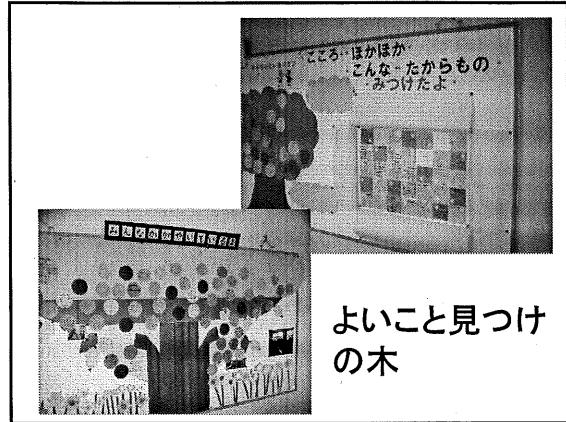


道徳の時間の「あしあと」





詩や「心のノート」のキーワードの掲示



よいこと見つけの木



思いやりの木



地域への情報発信



四季を意識した掲示・展示



子どもの姿や様子が見えるような掲示



地域の方の作品コーナー

望ましい言語環境をつくるポイント

- ・教師が正しい言語で話す。
- ・黒板などに正確でていねいな文字を書く。
- ・掲示物や配布物の言葉を正確にする。
- ・放送などで分かりやすい簡潔な言葉で話す。
- ・適切な文字や言葉が使われた教材を用いる。
- ・教師と子ども、子ども同士の話し言葉を適切にできる状況をつくる。

小学校「心に響き、共に未来を拓く道徳教育の展開」P81

